

質問者氏名	質問事項	質問要旨
11 番 遠藤 秀則	1 ふるさと納税について	<p>近年、新聞・報道等でふるさと納税への関心が高まっていると伝えられています。地域の特産品など様々な資源を活かしたり、アイデアを駆使したりした結果、ふるさと納税をする人たちが増加しているのです。自治体によっては、個人住民税を上回っているところもあるなど、ふるさと納税に関する報道は日々、目にします。</p> <p>ふるさと納税に対する特産品等、特典はさまざまだと思いますが、納税額をみますと長崎県平戸市では 12 億 8000 万、その他の市町村でも 3～4 億円以上のところが多くあるようです。</p> <p>また、納税者が、いただいた特産品が気に入り、新たに購入する事例もあるなど副次的な効果も認められるようです。そこで以下の 2 点についてお伺いいたします。</p> <p>① 他の市町村にどの程度の納税があり、また納税者に対してどのような対応をしているかを把握しておりますか。そしてそれらについてどのように考えていますか</p> <p>② 箱根町には、特産品として還元できるものといとなかなか難しいところですが、当町には温泉と宿泊施設が多く存在していることや、それらを利用した観光客が町内を周遊することにより箱根町全体の利益となっていくこと</p>

		<p>を踏まえ、納税者に対し、納税額の3～5割の宿泊補助券を送付するなどの対応は考えられないでしょうか。年間500万人の宿泊客の誘致の一助にもなりうると考えますが、いかがお考えでしょうか。</p>
--	--	--